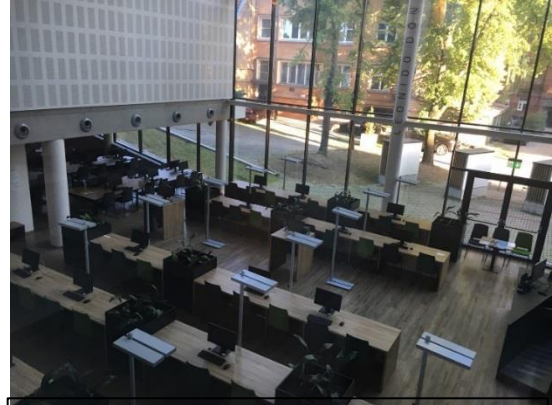


留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：佐藤 誠

VMUでは5月下旬から6月上旬（5月23日～6月8日）にかけて、春学期の期末試験が行われます。現在3つ目の試験を終え、最終週に2つの筆記試験を控えています。期末試験の配点が成績の50%以上占めるよう大学から指定がされているため、テスト期間中はいつもよりも多くの学生が図書館で勉強している様子が伺えました。私も他の学生に負けじとテスト勉強を進めているところです。



政治学部の建物の中にある図書館

#### 【Druskininkaiにある小学校での日本文化ワークショップ/5月4日～6日】

Druskininkaiはカウナスから南方へバスで1時間30分程度離れた場所にあるリゾート地として知られています。スパが有名で、国内外問わず多くの観光客が訪れているそうです。今回はその地域にある小学校へ訪問させて頂き、日本の文化に関するワークショップを行いました。訪問した際は、生徒たちによる日本の歌の演奏や合唱で出迎えて頂きました。日本人との学生との交流は毎年恒例のようで、現地の小学生もそのイベントを楽しみにしているようでした。

ワークショップでは、折り紙や書道、けん玉などの玩具のブースを設け、生徒たちが自由に楽しんでもらえるように取り組みました。イベントに参加してくれた生徒たちは日本の文化に興味津々で、最後まで飽きずに楽しんでいた印象があります。また小学生ながら、多くの生徒は英語を流暢に話せるのでコミュニケーションの面での苦労はありませんでした。私が拙いリトアニア語で話しかけると、すぐ英語で返答されたのが悲しかったですが、イベント自体は盛況していたので満足しています。



### 【アウシュヴィッツ強制収容所へ】

5月の下旬にポーランドのクラフクにあるアウシュヴィッツ強制収容所を訪れました。理由はスギハラハウスでのインターンシップを通じて、ユダヤ人について興味を持つようになったからです。1939年にポーランドからのユダヤ難民が杉原が勤めていた元日本領事館を訪れ、日本通過ビザの発給を求めていたこともあり、そのきっかけとなる第二次世界大戦中のドイツのナチス党によるユダヤ人迫害政策がアウシュヴィッツで行われていることを学びました。アウシュヴィッツでの労働を名目として、実際は6,000,000人近くのユダヤ人が虐殺されていることや、当時人権のない生活を余儀なくされていたことを知り、その時代の出来事の悲惨さを学びました。



子どもの日が近いこともあり  
リトアニアの国旗の色をした鯉のクッキーを  
もらいました

今までのインターンシップをしている中で、何度かユダヤ人の方々と会って話す機会がありました。目に涙を浮かべながら杉原氏に対して感謝の気持ちを述べていたのは強く印象に残っています。この活動を通して、訪問者の方に分かりやすくスギハラハウスについての説明をすることはもちろん、正しい歴史を伝えていくことへの責任感を改めて自覚しました。残りの留學生活の中で日本人として何をすべきかを考慮しながら活動を進めていきたいという気持ちになりました。

### 【その他】

5月の中旬ごろになると、最高気温が30℃近くに達する日もありました。昨年は5月下旬に雪が降っていたとか。リトアニアの気候は読めません。(笑)



ネリス川付近でピクニック！



バルト三国の  
エストニアへ旅行  
旧市街(タリン)の風景  
バス停にカメラを忘れ  
そうになるも優しいお  
ばあちゃんに助けられ  
ました。(笑)



We Run Vilnius 2018  
10 km完走！